

hap·py

→ go

→ luck·y

【ハッピー・ゴー・ラッキー】

形 〈人の行動が〉のんきな、気楽な。

名 10代におくるブックガイド。

はぴ 42 号

2018年10月発行

【編集】はぴ編集委員会

【発行】さいたま市立中央図書館  
浦和区東高砂町 11-1

TEL 048-871-2100

FAX 048-884-5500

<https://www.lib.city.saitama.jp/>

QRコード



きくよ読山



## 「キラークエスチョン」

やまだ れいじ  
山田 玲司 作 光文社新書 2009年



「好きな人と仲良くなりたいたいの、会話が弾まない」という経験はありませんか？特に「何を話したらいいかわからない」と悩む人が多いと思いますが、実は「何を話すか」ではなく「何を聞かか」という意識が重要なのだとか。

本書では、相手の本音を引き出すための質問、キラークエスチョンを多数紹介しています。例えば、「あなたにとっての映画ベストスリーは？」という質問。なぜ、この些細な質問がキラークエスチョンになるのか、その秘密は・・・。

## 「オーケストラ楽器別人間学」

もぎ だいけい  
茂木 大輔 作 新潮文庫 2002年



この本を読めば、もしかしたらあなたにぴったりの楽器がわかるかも？

現役オーボエ奏者がユーモアたっぷりに楽器別人格形成論を語る。フルート奏者は「貴族的エリート」、トランペットは「やる気満々のエース」のように、楽器から性格や人間性を推測してみたり。さらには、楽器ごとにデートの誘い方を考えてみたり。様々な角度から楽器と人との関係を探っていく。

楽器を演奏する人、音楽が好きな人におすすめの一冊。

## 「階段途中のビッグ・ノイズ」

こしがや  
越谷 オサム 作 幻冬舎 2006年



かみやまけいと  
神山 啓人の所属する大宮本田高校軽音楽部は、上級生が起こした事件のために廃部の危機に追い込まれていた。部の存続条件は、半年以内になんらかの成果をあげること。

文化祭でのステージ演奏を成功させるために、4人の仲間と頼りない顧問の挑戦が始まった。埃だらけの階段をギター、ドラム、ベース、ボーカルがひとつの音の塊となって駆け巡る。

好きなことだから諦めたくない！暑い夏におすすめる男子高校生の青春ストーリー。

## 「日本人のちょっとヘンな英語」

テイビッド・セイン 原案 アスコム 2012年



あなたは“I cut the cheese”の意味を知っていますか？「チーズを切る」と言ったつもりが、実は「おならをする」と聞こえてしまうことがあるんです！このように、文法的には間違っていないけれども、ネイティブには全く違う意味に聞こえてしまう「ちょっとヘンな英語」がこの本にはたくさん載っています。

セイン先生いわく、英会話上達の近道は声に出してたくさん間違えること。あなたも肩の力を抜いて英会話を楽しんでみませんか？

## 「クラシック音楽は「ミステリー」である」

よしまつ たかし  
吉松 隆 作 講談社+α新書 2009年



「シト・ラ・ド・シタ」。あなたには、この暗号が解けますか？

音楽は、その歴史や構造を知らなくても聴くことができます。しかし、仕掛けを知っていれば、曲に潜む「ミステリー」を聴くこともできるので。たとえば、「大作曲家たちが暗号を組み込んだ五線譜」、「悪魔との契約かもしれない交響曲第10番」、「殺人だらけのオペラ」など、まだまだたくさん！

「シト・ラ・ド・シタ」の意味を、そして音楽の「ミステリー」を、ぜひ確かめてみてください。

## 「りかさん」

ゆしき かほ  
梨木 香歩 作 偕成社 1999年



リカちゃん人形をねだったように、おばあちゃんがプレゼントしてくれたのは、市松人形の「りかさん」だった。初めはがっかりしたようだったが、ある夜りかさんの声が聞こえてから、人形たちと話せるようになる。一方、友達の登美子ちゃんの家では、家族に異変が起きていた。ようとりかさんは、その鍵を握る人形から話を聞こうとするが…。

りかさんやおばあちゃん、人形たちとのふれあいに心温まるファンタジー。



ほんの

ひととき。



# 動物にまつわる 「きく」



人間のような言葉を持たない動物たちは、どのように気持ちを伝えて、コミュニケーションをとっているのでしょうか。彼らの言葉を知れば、心の声が聞こえてくるかも。



『鳥のなき声ずかん』<sup>あふうち ままき</sup> 藪内 正幸 文・絵 <sup>しのはら ちか</sup> 篠原 栄太 文字 <sup>さとう ともみ</sup> 佐藤 聡明 音  
福音館書店 1992年

にぎやかな鳥たちの声が聞こえてきそうな、<sup>なが</sup>眺めるだけでも楽しい絵本。スズメは「チュン チュン チュン」、ウグイスは「ホーホケキョ」、では、「ツキヒホシ ホイホイホイ」と鳴く鳥は？答えは、本を読んでのお楽しみ。

『決定版 猫語大辞典』<sup>いまいずみ たかあき</sup> 今泉 忠明 監修

学研パブリッシング 2012年

鳴き声やしぐさなどに込められた、猫の気持ちがよくわかる一冊。猫を飼っている人はもちろん、飼っていない人も、猫たちの一見不可解な行動<sup>ふかふかい</sup>や不思議なポーズに、くすっと笑ってしまうかも。



『鳴き声と羽根でわかる野鳥図鑑』<sup>すかん としほ</sup> 吉田 巧 監修 <sup>いわした あり</sup> 岩下 緑 音声監修  
池田書店 2010年

日本にいる野鳥の生息地や特徴<sup>とくちょう</sup>のほか、観察のポイントなどがわかりやすく書かれた本。<sup>ひいたいでんわ</sup>携帯電話などで本に載っているQRコードを読み取れば、実際に鳴き声を聞くこともできます。ぜひ聞き比べて、お気に入りの鳥を見つけてみてください（図書館の中では鳴らさないでね）。

今回は「きく」にまつわる本をご紹介します。

身の回りのなにげない音や声が、新たな発見につながるかも。

次回  
予告

はぴ43号（1月発行）のテーマは

そら  
宙



このブックガイドは2,000部作成し、1部あたりの作成費用は3円（概算）です。